

足 監 査 第 7 2 号

平成22年10月25日

足利市小俣財産区管理者

足利市長 大豆生田 実 様

足利市監査委員 岩 崎 勝

足利市監査委員 岡 本 篤 典

足利市監査委員 常 見 登

平成21年度足利市小俣財産区特別会計歳入歳出決算  
審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成21年度足利市小俣財産区特別会計歳入歳出決算を審査したので、その結果について、次のとおり意見を提出します。

## 平成21年度 足利市小俣財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成21年度 足利市小俣財産区特別会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

平成22年9月16日から平成22年10月25日

### 第3 審査の方法

審査に当たっては、管理者から審査に付された平成21年度足利市小俣財産区特別会計歳入歳出決算書及び附属書類と会計管理者及び担当部課が所管する諸帳簿等を照合し、計数の確認を行ったほか、事務事業及び予算の執行状況等について関係職員からの説明を聴取して行いました。

### 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令にのっとり作成され、また、計数も関係諸帳簿、証ひょう書類と符合し、予算の執行もおおむね良好であると認められました。

なお、歳入歳出差引残高は、出納閉鎖日現在における指定金融機関等の預金現在高証明書と一致し、正確であることを確認しました。

審査の概要は、次のとおりです。

- (注) ・ 本文中及び表中の金額は、原則として千円単位とし、千円未満は四捨五入しました。また、合計額及び内訳の数値が、個別の四捨五入と一致しない場合があります。
- ・ 構成比率(%)は、合計と内訳の計が一致しない場合があります。
  - ・ ポイントとは、パーセンテージを比較した場合の単純差引数値です。

#### 1 財政運営の状況

本年度の財政運営をみると、前年度に比べて歳入は 8.0%減少し、歳出は 53.5%増加しています。

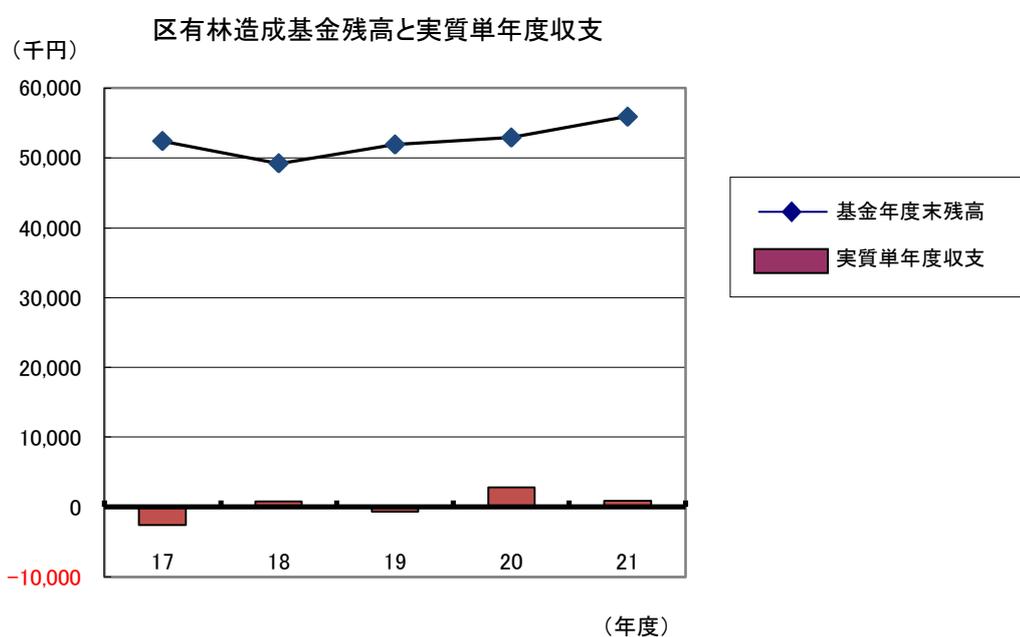
財政収支の状況をみると、本年度の実質収支 784 千円から前年度の実質収支 2,931 千円を差し引いた単年度収支は 2,147 千円の赤字となり、基金の積立て 3,000 千円を加えた実質単年度収支は 853 千円の黒字となっています。

歳入の構成は、主に繰越金 52.7%、土地貸付料 42.3%となっており、また、歳出

の構成は、主に積立金 62.8%、議員報酬 15.8%、一般管理費 14.9%となっています。

区有林造成基金は、本年度 3,000 千円を積み立て、残高が 55,900 千円となっています。今後とも、堅実な財政運営を行って、地区財産の増大・確保に努め、将来の需要に備えてください。

また、社会経済の変化を正しく把握するとともに、歳費等の削減を計画的に進め、収支の改善に努めてください。

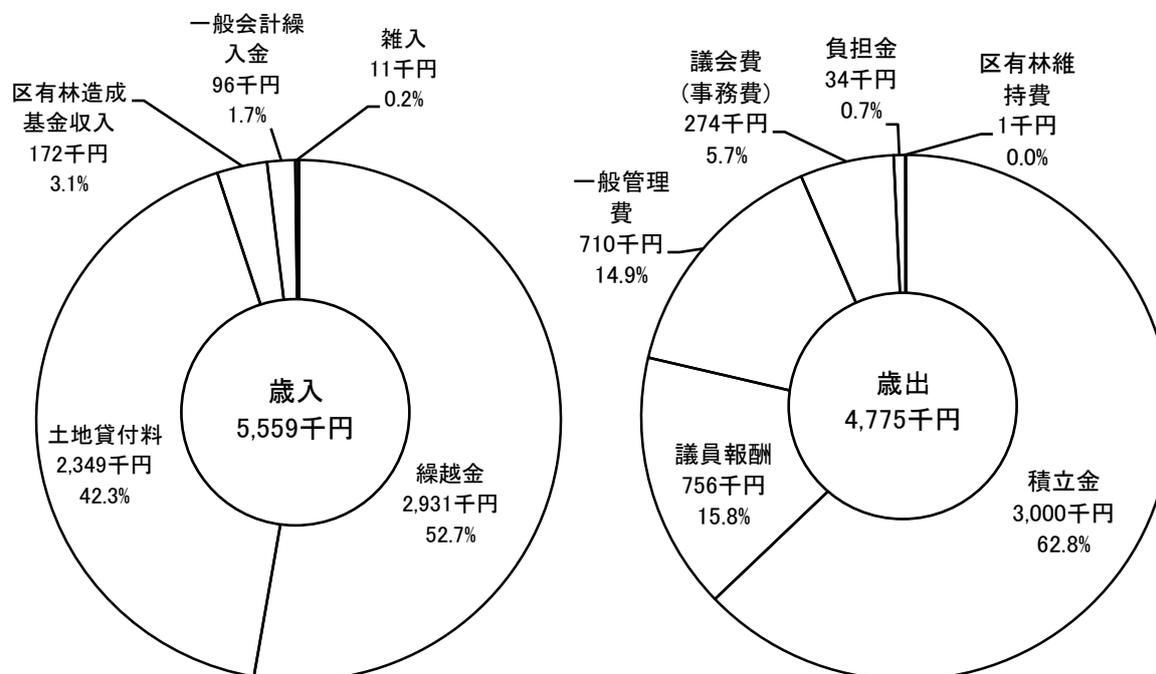


財産区は、地方自治法第294条等において、その所有する財産又は公の施設の管理及び処分が主たる目的で、財産の適正な維持管理を行うことにより、住民の福祉の増進に寄与するとともに、地区と市との一体性を損なわないように努めることが求められています。

また、地球環境の保全が求められ、森林が果たしている様々な機能が注目されています。郷土の貴重な緑を護るとともに、水源涵養という観点から、将来の展望を踏まえ、これに係る財産の確保と森林の育成に配慮されるよう希望します。

## 2 歳入、歳出

本年度の歳入歳出決算の構成比率は、次のとおりです。



### (1) 歳入

(単位 千円・%・ポイント)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
21	5,500	5,559	5,559	0	101.1	100.0
20	5,800	6,042	6,042	0	104.2	100.0
比較増減	△300	△483	△483	0	△3.1	0.0

歳入決算額は5,559千円で、予算現額に比べて59千円(1.1%)の増、収入率は101.1%となり、前年度に比べて483千円(8.0%)減少しています。

これは、主に繰越金が1,834千円(167.2%)増加したものの、不動産売払代が2,139千円(皆減)、区有林造成基金収入が74千円(30.0%)減少したことによるものです。

収入の主なものは、繰越金2,931千円(構成比52.7%)、土地貸付料2,349千円(構成比42.3%)です。

調定に対する収入率は100%であり、収入未済額はありません。今後も引き続き期限内徴収に努めてください。

収入の事務処理は、適正に行われていました。

## (2) 歳 出

(単位 千円・%・ポイント)

区分 年度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
21	5,500	4,775	725	86.8
20	5,800	3,111	2,689	53.6
比較増減	△300	1,664	△1,964	33.2

歳出決算額は 4,775 千円で、執行率は 86.8%となり、前年度に比べて 1,664 千円(53.5%)増加しています。

これは、主に一般管理費が 366 千円(34.0%)、区有林維持費 222 千円(99.6%)減少したものの、積立金が 2,000 千円(200.0%)、議会費の事務費が 252 千円(1,152.3%)増加したことによるものです。

支出の主なものは、積立金 3,000 千円(構成比 62.8%)、議員報酬 756 千円(構成比 15.8%)、一般管理費 710 千円(構成比 14.9%)となっています。

なお、不用額は 725 千円(13.2%)で、その主なものは、予備費の 397 千円を除くと財産管理費の委託料 128 千円、議会費の使用料・賃借料 69 千円、旅費 52 千円です。

本年度の事務事業は、おおむね執行されているものと認められました。

支出の事務処理は、おおむね適正に行われていましたが、補助金について課題が認められました。

## 3 財産の管理

土地は 441,798 m<sup>2</sup>で、本年度中の増減はありませんでした。

立木の推定蓄積量については、本年度中に所有 47 m<sup>3</sup>の成長があり、年度末現在高が 6,580 m<sup>3</sup>となっています。

区有林造成基金は、本年度中に 3,000 千円を積み立て、年度末現在高が 55,900 千円となっています。

財産の管理については、適正に行われていました。